



photo : Ai Hirano

Tachibana Being vol.75



WebTBはさらに充実

<http://www.tachibana-u.ac.jp/webtb>

March 2014

知りたい! たちばなライフ

- 02 発見! みんなの学び
- 04 大学生の生活大公開
- 06 先生教えて! 大学での学び方や生活について
- 07 先生おすすめ図書&映画
- 08 クラブ&サークル最前線
- 10 たちばなのウワサ、徹底検証!!



川崎 あかね さん
文学部
日本語日本文学科
4回生

卒論を追求し、有意義な4年間

卒業研究では小川洋子さんの著書『完璧な病室』を取り上げました。この小説は、抽象性や永遠性へのあこがれ、美しさをテーマに描かれています。研究にあたって、ゼミの野村幸一郎先生のアドバイスで、文学からだけでなく、社会学や哲学、心理学などさまざまな方向から物語を分析する新しい読解法を教わりました。4年間の学びを通して、本を深く読み解く力がつき、作品を自分なりに消化し、納得のいく卒論が書けて満足しています。

就活においても、大学で学んできたことを自信をもって話せたことで、内定が得られたのだと思います。皆さんも自分のやりたいことを深く学び、有意義な4年間で過ごしてほしいですね。

リップクリームの開発に挑戦

都市環境デザイン学科の木下達文ゼミでは、個人の卒業研究とともにゼミ生全員で取り組む共同研究を行っています。共同研究では、フレグランス商品をテーマとし、リップクリームの開発を行いました。香りは、爽やかな橘と、甘い桜の香りの2種類です。1,000名を超える学生に調査をし、何度も試作を繰り返して完成させました。女性だけでなく男性にも手に取ってもらえる商品にするために、デザインと色合いを工夫しました。

2014年1月に「香りっぷ」として商品化、販売を開始しました。ちゃんとした形になり、とてもうれしいです。新入生の皆さんも大学生のときにしかできないことに挑戦してください。



吉谷 美帆子 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科
4回生

たちばな健康相談で学びを実践

看護学科では、地域の人たちの身体計測や血圧、骨密度測定などを行う「たちばな健康相談」が毎年大学祭のときに行われ、大学のある山科地域の方々に来てくださいます。実践の場でもあり、幅広い世代の方々とおふれあえる機会となっています。私は1回生のときに参加し、血圧測定の担当をしました。自分が緊張すると、相手の方はもっと緊張してしまうので、笑顔を絶やさないように心がけていました。下回生の頃から多くの人と関わることはとてもいい経験になるし、自分自身の課題も見えてくるので、その後の実習にも活かされると思います。

将来は、患者さんが望む生活が実現できるよう、その方に合った看護の方法と一緒に考えていきたいですね。



妹尾 友理 さん
看護学部
看護学科
新4回生

自ら動いて専門の勉強に邁進

東北の震災後、被災者の方の心のケアをする臨床心理士に興味をもち、人の心によりそうことや、もっと深く人間を知りたいと思い、心理学を志望しました。心理学には、個性的な先生がたくさんいて、どの講義も楽しく受けています。座学だけでなく、実験をしたり、グループワークをしたり、データに基づいて考察する科学的な面があるのもおもしろいですよ。さまざまな考え方やとらえ方があり、毎回新しい発見があります。生活に密接に関わっている社会心理学の領域にも興味があるので、学びを深めていきたいと思っています。

大学は、自らが学びたいと思えば、たくさんの方が学べます。その気持ちを大切に大学生活を送ってほしいです。



荒井 証人 さん
健康科学部
心理学科
新3回生



岡田 美穂 さん
人間発達学部
児童教育学科
新4回生

将来の夢に近づくボランティア活動

私が所属するげんkids★応援隊では、教員や保育士志望の学生が、地域の小学生を大学に招いてイベントを開催したり、夏祭りやキャンプなどのお手伝いをしています。イベントでは、水遊びや段ボール迷路、工作などの体験学習など、毎回違う企画を行っています。子どもたちの反応が直にわかり、とても勉強になります。低学年から高学年までと、参加する児童の年齢の幅が広いので、みんなに楽しんでもらえるよう、子どもたちの意見を取り入れながら企画を考えています。

ボランティア活動を始めて2年半。今では、子どもたちの表情を見て、一人ひとりに合った声かけができるようになりました。将来は、子どもの気持ちを理解し、よりそえる先生になりたいと思っています。



田中 鴻 さん
現代ビジネス学部
現代マネジメント学科
救急救命コース
新3回生

救急救命研究会TURFでレベルアップ

TURFは、救急救命に関する知識や技術の向上と、学内や近隣の小中学校・地域のイベントに積極的に参加して、心肺蘇生法や一次救命処置の普及活動を主に行っています。学外での講習会などにも参加していて、病院に運ぶ前に行われる傷病者に対する外傷観察・処置プログラムを学んでいます。現職の救命医や救急救命士、看護師の方々との交流もあり、現場での話が聞けるので、とても勉強になりますし、レベルアップにもつながっていると思います。

大学生活では、勉強するときは集中して勉強し、遊ぶときは思いっきり遊ぶ。オンオフをうまく切り替えて楽しく過ごしてください。

発見！みんなの学び

大学で学ぶ目的の一つは、自ら学ぶ姿勢と方法を身につけることです。関心を持ったものについて、自分次第で知識や経験をいくらかでも深めることができ、学びの可能性が大きく広がるのです。ここでは、充実した学びを実現している先輩たちに話を聞きました。

「第9回 京都から発信する政策交流大会」で賞を受賞

都市の抱える問題・課題を見つけ、それを解決するための研究を行う学生の研究交流の場として、2005年より開催されている政策交流大会。2013年12月1日(日)にキャンパスプラザ京都で行われた「第9回 京都から発信する政策交流大会」において、本学都市環境デザイン学科の4回生2名が賞を受賞する快挙を成し遂げました。



小松 千織 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科
4回生

京都府知事賞を受賞！

大学で地域づくりの実践を積んだことは大きな財産

高校生の頃から地域ボランティア活動などに取り組んでおり、地域活性化に興味がありました。大学では、山科地域など、実際のフィールドに出て人と関わったり、企画運営などの実践を多く積むことができ、貴重な経験になりました。

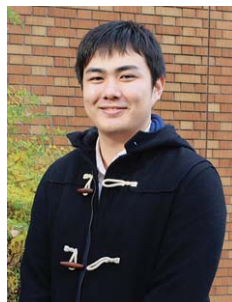
卒業研究は、特産品のゆずを使った地域づくりで有名な、地元高知県の馬路村をテーマにするつもりでした。でも、さまざまな地域での林業などを見ていくうちに、ただの事例研究で終わらせたくないと思い、「日本全体における森林資源の利用可能性と地域づくりについて」を卒論のテーマに決めました。全国の資料を探してまとめていくのが大

変でしたが、先生方にサポートしてもらい、仕上げることができました。

地元の活性化のために始めた研究

発表では、建築材の利用法を見直すことや、間伐材の利用法促進など、日本の木を余すことなく使う方法を提言し、衰退している林業の復興を訴えました。まさか賞をもらえると思っておらず受賞には驚きましたが、地元の活性化のために始めた研究だったので、うれしさと充実感でいっぱいです。

将来は、活気のなくなってきた地元をもっと盛り上げたいと思っています。社会経験を積んで地元へ戻り、貢献したいです。



大田 雅之 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科
4回生

優秀賞を受賞！

イベントが地域をつなげる役目を果たす

「山科の灯りイベント『陶灯路』の8年を追って」というテーマで、イベントが地域をつなげる役目を果たしていることについて発表しました。「陶灯路」とは、清水焼団地が開催する大陶器市「清水の郷まつり」を盛り上げるために、現代ビジネス学部の織田先生と学生、清水焼団地の作家の方々や地域の人が連携して、8年前から始めたものです。回を重ねるごとに来場者も増え、今や山科駅前や勤修寺・随心院でも開催される、地域を巻き込んだ大イベントへと成長しました。

まちづくりに全力で取り組んだ4年間

私は、オープンキャンパスで織田先生の話に魅力を感じて入学しました。1回生のときから4年間ずっと陶灯路イベントに全力で取り組んできて、「現場を重視」することを学びました。それを優秀賞受賞という形で評価されたことがうれしいです。実は、卒業研究は、七夕陶灯路のマニュアルになっています。後輩たちに長く続けてほしいという願いを込めて、陶灯路の歴史から企画運営に至るまでをまとめました。

大学生活は、自由にできる時間をどれだけ有意義に使うかです。情報を集め、授業だけではなく学びの機会を自分でつくり出すなど、積極的に行動してほしいと思います。



大学生の生活大公開



大学生としての生活を新しく始めるにあたって、どんな風に一日を過ごすのか、どんな授業を受けているのか、なかなかイメージが湧かないという人も多いはず。ここでは、先輩たちのある一週間、一日、プライベートライフをのぞかせてもらいました。

有田 真悠 さん

健康科学部理学療法学科 新3回生

理学療法学科のメンバーと



友達の部屋でパーティ



京炎そでふれの発表

毎日が楽しく充実しています！

理学療法学科には、学生会が4つあり、私は物理療法研究会に所属しています。機器を使用した治療法を自分たちで体験しながら学習したり、自分たちで考えた研究テーマの実験や検証もしています。同じ理学療法士をめざす仲間と楽しく学んでいます。

サークルは、ソフトテニス部と京炎そでふれ！部Tacchiに入っています。テニスは気分転換に、そでふれでは京都学生祭典での披露に向けて頑張っています。大学生活はおもしろくて、毎日が充実しています。

時間割(2回生)		mon	tue	wed	thu	fri	sat
1			理学療法 評価学名論 演習	老年医学	運動器障害 系理学療法 学基礎演習	生活技術学	スポーツ 医学
2	物理療法学	理学療法 評価学名論 演習	ホーム ルーム	運動器障害 系理学療法 学基礎演習	臨床運動学 演習		スポーツ 医学
3	神経障害 系理学療法 学基礎演習	人体の構造と 機能実習Ⅱ					
4	神経障害 系理学療法 学基礎演習	人体の構造と 機能実習Ⅱ	スポーツ 医学			小児科学	
5	運動療法学	人体の構造と 機能実習Ⅱ			画像診断学		
6							

有田さんのある一日

- 7:30 起床
- 8:30 出発
- 9:00 授業

- 18:00 サークル
- 21:00 大学出発
- 21:30 食事
- 22:00 休息(テレビなど)
- 23:00 入浴
- 24:30 就寝



中村 雅人 さん

文学部歴史学科 新4回生

ゼミでの発表



図書館で勉強



歴史学科の仲間と昼食



中村さんのある一日

- 6:00 起床
- 7:00 出発
- 9:00 授業
- 16:20 大学出発
- 18:30 帰宅
- 19:00 食事
- 19:30 ニュース、新聞、読書(歴史に関する本など)
- 21:30 入浴
- 22:30 休息(テレビなど)
- 23:30 就寝



時間割(3回生)		mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	ドイツ語Ⅳ			公民科 教育法Ⅱ	社会科 教育法Ⅲ	教育方法の 研究	
2			政治学概論 Ⅱ		経済学概論 Ⅱ	自然地理学	
3	現代史演習 Ⅱ	現代史講義 Ⅱ					
4			世界史特講 f(中央・ 西アジア史Ⅱ)		地理学概論		
5					地歴科 教育法Ⅱ		
6			教育実習Ⅱ				

歴史を深く学べる環境に満足しています！

ドイツ近現代史に興味があります。世界各国の外交文書を読む「現代史講読」は、国際関係の歴史を知る上でとてもおもしろいですね。各人が担当部分をレジュメにまとめて発表した後、解釈について活発に議論しあったりするので、予習にも力が入ります。

休み時間は友人と話をしたり、図書館や情報メディアセンターで調べ物をしたり、勉強をしたりしています。専門書や資料などの蔵書が充実していて、とても満足しています。大学院に進学して、さらに研究を深めていきたいと思っています。



看護学部
看護学科
堀 妙子 教授

【図書】『僕の死に方
エンディングダイアリー 500日』
金子哲雄(著) 小学館 2012年
【映画】『しあわせのパン』
三島有紀子(監督) 2012年

図書『僕の死に方 エンディングダイアリー 500日』は、流通ジャーナリストの金子哲雄さんの人生が書かれた本です。毎日の生活のなかで疲れたり悩んだりしたとき、癒されたり悩みを解決する糸口を見つかったりすることができる本です。

また映画『しあわせのパン』は、東京から来た夫婦が北海道でパンカフェを開き、そこにやってきた人々との交流が描かれた映画です。



『僕の死に方
エンディング
ダイアリー 500日』



『しあわせのパン』

先生おすすめ 図 書 & 映 画

大学生のときに読んでほしい図書や観てほしい映画について、先生方におすすめのものを聞きました。学部・学科関係なく、心に響いてくる作品に、ぜひ向かい合ってみてください。



現代ビジネス学部
現代マネジメント学科
救急救命コース
千田 いずみ 助教

【図書】『100の思考実験
あなたはどこまで考えられるか』
ジュリアン・パジーニ(著)
紀伊国屋書店 2012年
【映画】『サウンド・オブ・ミュージック』
ローバート・ワイズ(監督) 1965年

この本は読むのではなく「考える」本です。さまざまなシチュエーションに自分を置換して考えるため、イメージ力も養えます。「サウンド・オブ・ミュージック」には、明るく活発な主人公の存在が人々の心を開き、家族の隔たりまで修復していく過程が描かれています。ハートフルなミュージカル映画ですが、終盤の亡命シーンはアクション映画さながらの緊張感があります。



『100の思考実験
—あなたはどこまで
考えられるか—』



『サウンド・オブ・
ミュージック』



『中国行きの
スロウ・ボート』



『ニュー・シネマ・
パラダイス』

【図書】『中国行きのスロウ・ボート』
村上春樹(著) 中央公論社 1997年
【映画】『ニュー・シネマ・パラダイス』
ジュゼッペ・トルナトーレ(監督)
1988年

『中国行きのスロウ・ボート』は、村上春樹の初めての短篇集です。ストーリーのおもしろさはもちろん、眼前に映像が浮かんでくるような風景描写がとても好きです。

「ニュー・シネマ・パラダイス」は、イタリアの田舎町の小さな映画館を舞台とした映画です。主人公の演技、町の美しい風景、BGMの旋律すべてが心に深く響きました。



文学部
歴史遺産学科
登谷 伸宏 助教



健康科学部
心理学科新3回生
西田 真優 さん



健康科学部
心理学科
永野 光朗 教授

教える × 学ぶ

先生教えて!大学での学び方や生活について

大学での学びは、高校までとは違うものです。これから学ぶ新入生、まだまだ模索中の在学生のために、今回、心理学科新3回生の西田真優さんが、同学科の永野光朗教授に大学での学び方や生活についてインタビューしました。

大学で学ぶとはどういうことですか？高校までどのように違うのですか？
あえて極端な言い方をすれば、高校までの勉強は受動的勉強、大学は能動的勉強ということになると思います。カリキュラムに従って科目をこなしていくのではなく、大学では、学部・学科の選択を主体的に行ったことを出発点にして、自分で計画を立てていかなければなりません。「大学で何を学ぶのか」「なぜこの科目について学ぶのか」ということについて明確な目的意識を持つ必要があります。

やはり本は読んだ方がいいですか？読むとしたらどんな本がいいのでしょうか？
個人的におすすめしたい本はいろいろありますが、特に1回生の間に、自分の専門分野の基本的な理論を紹介した本や、その歴史について述べた本をしっかりと読むことが大事だと思います。心理学で言うと、心理学史の本や、フロイト、ピアジェ、マズローといった著名な理論家の理論を紹介した本やその人たちの著書を読むことが大切です。新書版のようなもので十分だと思います。基本的な書物を読むことで、その学問自体の必要性や、それが成立していることの意義、あるいは研究テーマを巡る先人たちの努力や苦悶が理解できます。このことは大学あるいは大学院での勉強の視点や方針を立てる上での基礎になります。私の経験から言えば、大学に入りたてのときに読んだ本はインパクトが大きく、そこで得たことは一生の財産になると考えます。

先生は、どんな学生時代を送ったのですか？
学部と大学院合わせて9年間も学生生活を送りました。学部時代は京都市内に間借りの下宿をしていました。大家さんによく迷惑をかけましたが、とても理解のある方で快適な生活でした。京都には学生のことを「学生はん」と言って大事に扱う独特の文化、規範があり、皆さんに大切に育ててもらったと思います。京都の学校に進んで良かったと今も思います。授業がないときもほぼ毎日学校に行き、そこで本を読んだり先輩に教えてもらったり、

同級生と議論する毎日でした。大学以外では、青少年活動のボランティアサークルや心理学科の研究会に所属し、アルバイトも家庭教師、塾講師、飲食業、販売、町工場の作業、旅館の手伝いなどいろんなことをしました。夏休みは、当時の国鉄が販売していた周遊券という切符を使って一カ月の間あてもなく北海道をさまよい、いろいろな人と仲良くなったりました。学生時代にしかできないことはすべてやろうと思って行動し、結果的にすべてやりつくしたと思っています。

大学生はレポートが多いと聞きますが、本当にそうなのでしょうか？そして、それはなぜなのでしょうか？
大学では、科目の性格によってさまざまな評価方法がとられます。大学においてレポート作成が重視される理由は二つあると思います。一つには、レポート作成が、自らがコンセプトを企画し、情報を収集・整理して表現するものであるため、能動的で主体的な勉強になるからです。もう一つは、単に知識を覚えるという記憶に依存した勉強ではなく、論理的思考力や問題解決方法の提案能力を身につけるという大学教育の趣旨と一致していることでしょうか。

大学4年間という長い時間を、どのように過ごしたいののでしょうか？
ポイントは二つあります。一つは、大学で勉強すること自体を目的として位置づけるのではなく、自分が向上するための手段と位置づけて、それを最大限に利用してもらうことです。授業外でも教員に関わっているいろいろなことを教えるもらうこともそうですし、図書館や実習室などの設備はぜひ使い尽くしてください。二つめは、「大学生にしかできない生活を送ってほしい」ということです。学生時代は人生のなかで唯一無二のきわめて貴重な4年間であるということを実感して充実した毎日を送ってもらいたいです。ぜひ皆さんも本学を卒業して10年後、20年後に「最高の学生生活を送った」と胸を張って言えるようになってもらいたいと願っています。



健康科学部
心理学科
田中 芳幸 助教

【図書】『ボックス!』
百田尚樹(著) 太田出版 2008年
【映画】『いまを生きる』
ピーター・ウィアー(監督) 1989年

それぞれボクシングと詩という異なる題材を取り上げた作品ですが、いずれも若者の生きる姿を鮮烈に描写しています。主役級の若者、親、教師等々、どの登場人物の視点に立つのかによって、まったく異なる感想を得られるような気がします。“本当の強さ”とは何か、“自分の心に正直に生きる”ことの輝かしさと危うさ、そんなことを少しでも考えながら、これらの作品に触れてみるのもよいと思います。



『ボックス!』



『いまを生きる』



『ホイットマン詩集
—対訳—』



『レナードの朝』

【図書】『ホイットマン詩集—対訳』
ウォルト・ホイットマン(著) 木島始(訳)
岩波書店 1997年

【映画】『レナードの朝』
ペニー・マーシャル(監督) 1990年

ホイットマンは同性愛者の詩人で、アメリカ南北戦争中、両軍の兵を看病した偉人です。特に『草の葉』は深みのあるプラス思考でエネルギーに溢れた、非常に素晴らしい詩集です。

精神病院で生活を送る植物人間レナードは臨床経験のない研究者の懸命な務めにより再び目覚める。「生きること」と「学問と人間」について深く考えさせる作品です。この映画のもう1つの醍醐味は途中出てくるリルケ作「豹」という詩です。



人間発達学部
英語コミュニケーション学科
アングス ノーマン 教授

文化系

- 裏千家茶道部
- 演劇部
- 表千家茶道部
- 音楽研究部
- 着物部
- 写真部
- 書道部
- 吹奏楽部
- 箏曲部
- 美術部
- 文芸部
- 放送研究部
- 漫画研究会
- 歴史学研究会
- 和太鼓部
- 和洋菓子研究会
- アカペラ同好会
- 映画同好会
- かるた同好会
- 考古学研究会
- 天文同好会
- ファッション研究同好会
- 料理同好会



演劇部



表千家茶道部



写真部



書道部



箏曲部



文芸部



歴史学研究会



和太鼓部



映画同好会



考古学研究会

体育系

- 居合道部
- 弓道部
- 京炎そでふれ!部
- 剣道部
- 硬式テニス部
- サッカー部
- 準硬式野球部
- 女子バレーボール部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- ダンス部
- 軟式野球部
- バドミントン部
- ハンドボール部
- フットサル部
- ラクロス部
- 陸上部
- 女子バスケットボール同好会
- ソフトボール同好会
- バトンチア同好会



弓道部



京炎そでふれ!部



女子バレーボール部



男子バレーボール部

ボランティア団体

- 救急救命研究会
- 京都子ども守り隊〜守るんジャー〜
- 手話サークル
- スポーツリハビリテーションサークル



手話サークル

男子バスケットボール部



上部リーグをめざして頑張っています!

男子バスケットボール部は、関西学生バスケットボール連盟に加盟しています。最近、4年連続リーグで優勝を果たし、今春から3部リーグに昇格しました。さらに上部リーグをめざし、部員の結束を固めて頑張っています!

活動日は週3回、主に中央体育館で活動しています。やる時はやる!をモットーに、練習に励んでいます。厳しい上下関係もなく、部員全員が仲良く、バスケットを楽しんでいます。バスケット好きの人、初心者の人也大歓迎! 少人数なので、レギュラーになるチャンスもあります! 興味のある人は、ぜひ一緒にバスケットをしましょう。



沼田 翔磨 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科
新3年生

裏千家茶道部



西田 いずみ さん
文学部
歴史遺産学科
新3年生

茶道を通して日本文化にふれてみませんか?

先輩、後輩、男女問わず仲が良いサークルです。ほとんどの人が大学からのスタートなので、初心者の人でも安心して始められます。先輩が、礼儀作法や道具の扱い方を丁寧に指導します。でも、決して堅苦しくないので大丈夫。週2回、リパティホール(学生会館)にある和室で活動しています。日本文化にふれながら、一緒に楽しくお茶をしませんか?

他大学の茶道部と交流があり、友達がたくさんできますよ。新歓祭は広場で、学祭は和室でお茶会を開いています。興味のある人は、ぜひ参加してくださいね。

クラブ&サークル最前線

京都橘大学では、現在49のサークルや同好会、ボランティア団体が個性豊かでユニークな活動をしています(2014年2月現在)。回生や学部・学科を越えた仲間をつくるのが魅力です。興味のあるサークル・同好会・ボランティア団体が見つかったら、足を運んでみましょう。

アカペラ同好会



糸数 天洋 さん
文学部
日本語日本文学科
4年生

歌うことが楽しくなるサークルです!

2013年9月に立ち上げたばかりのサークルです。歌が好きなのは、初心者でも歓迎です。きれいにハーモニーをつくれるようになると、歌うのがますます楽しくなりますよ。活動日などは特に決まっていますが、曲ごとにグループに分かれて練習をしています。いろいろな学部の人とも友達になれますよ。

八幡市のライブイベントなどにも参加していて、目標はハモネプ出場です!! たくさんの人に元気や感動を届けたいです。アカペラをきっかけに、もっといろいろなことに興味が広がるといいなと思っています。

ウワサ5 ル・ビストロの「季節のパフェ」が気になる!



生協食堂ル・ビストロでは、期間限定の季節のパフェと定番パフェの2種類がメニューにあるよ。定番は、和風パフェとチョコパフェ。でもやはり人気は期間限定パフェ。1月は、お正月にちなんだ「紅白パフェ」で、イチゴやパナアイスなどが層になっていたよ。



食堂の職員さんが、360円で見た目の美しさにもこだわってできたパフェは本当に絶品。ル・ビストロで13時～15時にて販売中(通常営業時)。ぜひ食べてきてね!



ウワサ4 音大じゃないのに、ピアノがたくさんある!?



児童教育学科の学生が学ぶ児童館には、ブランドピアノやアップライトピアノ、電子ピアノなどがたくさんあるよ。ピアノ室もあるんだ。小学校教諭や幼稚園教諭、保育士の資格取得をめざす学生のために用意されたものなんだよ。



ピアノ未経験の人もあるけど、先生が親身になって教えてくれるし、個別指導もしてくれるから、安心だね。ばくも弾いてみたよ! ピアノ室は8:45～20:30まで自由に使うことができるよ。

ウワサ6 小説が教科書の授業があるらしい!



日本語日本文学科のほとんどの授業では、小説が教科書として使われているんだ。野村先生の授業では、1・2回生のときに明治期の代表作に触れて、3回生以上になると一つの作品をじっくり読むんだって。



先生は、「人の生き方や、どう生きるのかということに合った小説に触れることは、自分の人生態度に関わってきます。そして同じ作品でも、自分がどう感じ考えたか、また人によってとらえ方や吸収の仕方が違うことをわかっていくことが大切なんです」と言っていたよ。

たちばなブログスタッフ Presents たちばなのウワサ、徹底検証!!

「学内にガイコツがいっぱいある!」「音大じゃないのにピアノがたくさんある!」などなど、学内に飛び交うウワサ。今回、そのウワサの真相を検証すべく、たちばなブログスタッフが出動! 学内を駆け巡って調査してきました。



ウワサ3 大学にフィットネスルームがあるって本当?



2年前に新しくできた中央体育館の1階に、フィットネスルームがあるよ。ベンチプレスやランニングマシンなどたくさんのトレーニング器具があるんだ。



講習会を受けて、学生支援課から利用者証を発行してもらったら、誰でも利用できるよ(救急救命コースと理学療法学科は授業中に講習会があります)。



ウワサ2 本物!? おしゃれなデザイナーズチェアを発見!!



清風館と明優館に、おしゃれなデザイナーズチェアが置いてあると聞いたけど。

現代ビジネス学部の都市環境デザイン学科には、建築やインテリアなどを学ぶコースがあって、そこで学ぶ学生のために、デザイナーズチェアのレプリカが置いてあるんだ。



へーえ、なるほど。ぼくはこの黒の革張りの椅子がかっこいいと思うな。背もたれ部分の背がすごい高いこの椅子もおもしろいね。



革張りの椅子はバルセロナチェア、背もたれが高いのは、ヒルハウスというみたいよ。私が気に入ったのは、曲線が印象的なアルネ・ヤコブセン作のスワンチェアだね。



ウワサ1のつづきだよ



清優館は、看護学科の学生が学んでいるところだね。

ここにも人体模型が1体あるよ。フィジカルアセスメント演習という授業で、注射を打つ位置覚えるために使うんだって。たとえば「この骨から指何本分のところに打つ」とかね。



ガイコツが学内にたくさんあるのは、理学療法に救急救命、児童教育に看護と、それぞれの学びの特徴に合わせて使われているからなんだね。

ウワサ1 大学内のいろんなところに、ガイコツ(人体模型)があるらしい!



理学療法学科には、人体模型が男女3体ずつ、全部で6体もあるよ!



授業や自主学習に使っているよ。全身の骨の名称と場所を覚えるために1回生のときは骨のスケッチをしたり、2回生では、筋肉のつき方を学んだりするんだって。



この日も理学療法学科の学生たちがテスト勉強していたね。



救急救命コースの授業でも使っているよ。胸骨圧迫、心電図などの処置を学ぶときに、骨と内臓の関係を示すのにわかりやすいぞう。1・2回生のときには基礎的なことを覚えるために、3・4回生になると技術的な指導を受けるときに使うんだって。

お話を聞かせてくれた夏目先生と一緒に。



児童館の理科実験室にもあるの?



この教室では、児童教育コースの学生たちの授業が行われていて、人体模型は小学校の理科「人のからだ」の教育法を学ぶときに使うよ。人体模型を見ながらツキノワグマの骨を組み立てて、四足歩行と二足歩行の違いを学んだ。



編集後記
今回は大学中を巡り巡って取材をしました。スタッフ自身、色々な発見がありました。協力してくださった方々に感謝を。そして、新入生の皆さんこの記事参考に、京都橋でのキャンパスライフを楽しんでくださいな。

右から
小栗 実さん 文学部文化財学科 新4回生
鶴井 彩乃さん 看護学部看護学科 新4回生
大西 彩加さん 人間発達学部児童教育学科 新3回生
高橋 瑠星さん 文学部歴史学科 新3回生

新入生へのメッセージ



学長
細川 涼一 教授

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。京都橘大学の教職員一同、皆さんのご入学を心から歓迎します。皆さんが大学生活を送る今日は、内外ともに不透明な状況を抱えた時代ですが、それだからこそ、皆さんが「臨床の知」を自分自身の力として獲得し、そのような自立した「個」がお互いに繋がりあい、「共生」することによって、新しい未来を築いていくことにもなるのだと思います。私たち教職員も、皆さんの人間としての成長のために全力をあげてサポートしていきたいと考えています。橘でのこれからの4年間で、未来への希望に満ちた充実した学生生活になりますことを期待します。



人間発達学部長
浅井 雅志 教授
(2014年4月就任)

新入生の皆さん、人間発達学部へようこそ。我が学部は児童教育学科と英語コミュニケーション学科で構成されていますが、共通のコンセプトは、いかにして人間は成長・発達するかということ。一方は他者を教えることを、もう一方は英語や異文化の習得を通して成長することを目指します。4年間、さまざまなことをやって経験の幅を広げつつ、自分の適性を探ってください。大きな知的好奇心と努力があれば、素晴らしい未来が開けることでしょう。



看護学部長
遠藤 俊子 教授

ご入学おめでとうございます。大学の入学にあたって、どのような心構えでいらっしゃるでしょうか。大学は、専攻される学部においての専門的な知識・技術と共に、良き社会人となるための教養や社会人基礎力といわれる〈前に踏み出す力〉〈考え抜く力〉〈チームで働く力〉が培われる空間や時間をもちます。思春期までの自分から青年期への脱皮を期待します。大志を抱きながら、一緒に学びましょう。

入学する君たちは、どのような大学生活を思い描いているだろう。君たちはこの大学で、新しい友や師に出会い、新しい経験に遭遇して、新しい知を積み上げ、新しい人間に育ってゆく。自己実現を声高に唱える風潮のある昨今だが、どんな小さなことでもそれは自己のみで叶えられるものではない。他者との関係性の中で、自己は確認され、実現されてゆくものだ。人との関係を基軸にそれぞれの知の体系を紡いでいくこと、それが文学部における学びであり、君たちがそうした学生であることを期待している。



文学部長
増渕 徹 教授

現代の社会に必要な仕事を探求する現代ビジネス学部では、キャリア開発に取り組んでいます。まずは、皆さん、フレッシュな新入生というキャラクターづくりをしましょう。大学は劇場です。幕が開きます。あなたはもうそのステージに立つ役者です。同級生、先輩、職員、教員、清掃や生協のスタッフ、大学への訪問者…さまざまな役柄の人たちと同じ舞台にいます。まずは、朗らかな挨拶と自然な笑顔を！あなたへの最初の演出です。



現代ビジネス学部長
小暮 宣雄 教授

ご入学おめでとうございます。理学療法学科と心理学科の学びは、「こころとからだの健康と臨床」をテーマに、健やかな生活・生産的な人生を創り出し、また臨床の場にあっても心豊かに生きることに関与しようとするものです。そのために、このキャンパスでさまざまな人々と学問に出会い、大いに語らい、感じ、学んでください。瑞々しい知的探求心に溢れ、また素敵な仲間との交流に彩られた4年間となりますよう、応援します。



健康科学学部長
日比野 英子 教授